

令和8年度

事業計画書

自 令和8年4月1日

至 令和9年3月31日

一般社団法人 日本非破壊検査工業会

1. 基本方針

令和8年度は、長年続いたデフレからの完全脱却に向けた重要な局面にあり、物価上昇と賃金上昇の好循環を実現し、成長型の新たな経済ステージへ移行していくことが求められている。持続可能な経済社会を構築するためには、成長分野への国内投資の拡大、人材への投資、生産性向上に資する社会資本整備の推進、並びにDX（デジタルトランスフォーメーション）・GX（グリーントランスフォーメーション）の推進が不可欠である。

一方、物価高や構造的な人手不足といった厳しい経営環境の中で、地域経済を支える企業の成長促進、事業継続力および再構築力の強化、DXの活用による生産性向上などが強く求められている。こうした大きな変化の時代において、変化を成長の契機と捉えた取り組みが重要となる。

非破壊検査業界においては、売上単価の上昇傾向はみられるものの物価高への十分な価格転嫁には至っておらず、技術者の高齢化や若年層人材不足、技術者育成の効率化などの課題が依然として存在している。産業構造のデジタル化が進展する中、ビジネスモデルの転換、新たな市場創出、人材育成および各企業の成長力強化を通じ、活力ある業界の形成を目指す必要がある。

当工業会は、非破壊検査の普及と振興を通じて社会的地位と信頼性の向上を図り、非破壊検査業並びに検査機器・材料の製造販売業の健全な発展に寄与する活動を推進する。

令和8年度の重点施策

(1) 会員サービス・業界基盤の強化

会員満足度向上を目的としてWebコミュニケーション施策「工業会119」のさらなる活性化と定着化を図る。

(2) 資格制度の高度化

非破壊検査業界の社会的地位向上および技術者技能の信頼性向上を目的として、「コンクリート構造物の配筋探査技術者（民間資格）」の国家資格「技能士」化に向けた活動を推進する。

(3) 教育・講習事業の充実

- ・新入社員のための非破壊検査基礎講習会
- ・フェーズドアレイ超音波探傷器講習会
- ・NDT塾
- ・JIS Z 2305 (UT2) 技術者教育講習
- ・インフラ調査士講習
- ・コンクリート構造物の配筋探査講習

また、以下の資格認証事業を継続する。

- ・インフラ調査士
- ・インフラ調査士補
- ・コンクリート構造物の配筋探査技術者

(4) 普及・啓発活動の推進

- ・非破壊評価総合展の開催
- ・インフラ点検技術講演会の開催
- ・技術討論会の開催

(5) 安全衛生活動

労働安全環境の向上のため、エックス線安全取扱教育を継続して実施する。

(6) 産学官連携の強化

官公庁、公的機関、大学および関連団体との連携を強化し、非破壊検査業界の発展と社会的認知の向上に努める。

2. 部会等活動

2.1 理事会

本会の執行機関として理事会を置き、定款で定める事項を遂行する。

部会・委員会名	回数	実施予定
理事会	6	4/16、6/8、8/20、10/22、1/7、3/11

2.2 運営会議・政策調整委員会

本会の事業活動の適切かつ円滑な遂行と本会の管理・運営を適正かつ公正に行うための基本的な事項並びに事業部門の組織横断的な課題や、非破壊検査業界の発展のための他団体との交流や政策要望の検討を行う。

令和8年度は、以下の施策を実施する。

- ・組織の活性化、合理化に関する検討
- ・魅力ある工業会活動の検討
- ・非破壊検査業界の発展のための政策要望の検討

部会・委員会名	回数	実施予定
運営会議	2	5月、10月
政策調整委員会	2	6月、11月

2.3 倫理委員会

本会は、法令や社会的規範の遵守と高い倫理観に根差した活動の遂行を目指し、理事会の求め等に応じて倫理委員会を開催する。

2.4 総務部会

本会の事業活動の適切かつ円滑な遂行と本会の管理・運営を適正かつ公正に行うための基本的な事項並びに事業部門の組織横断的な課題及び官公庁等公的機関や関連諸団体との調整・連携に係る業務を遂行する。当工業会の活動を更に効率化するための施策を継続的に検討するとともに、非破壊検査業界の発展のための他団体との交流や政策要望の検討等に注力する。令和8年度は、特に以下の施策を支援する。

- ・当工業会主催の講演会（技術部会・認証部会）、講習（技術部会・教育部会・安全部会）、非破壊評価総合展（広報部会）等の支援
- ・業界の社会的地位向上と会員満足に資する配筋探査資格の国家資格化
- ・会員相互の意見交換や交流を図る施策（広報部会）の支援

また、経済産業省、国土交通省、厚生労働省などの官公庁及び大学や研究機関並びに非破壊検査に係る諸団体との連携強化を図り、非破壊検査技術の普及並びに非破壊検査業界の発展に係る活動を推進する。

(1) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
定時総会	1	6/8
賀詞交歓会	1	1/7
総務部会	6	5/14、7/16、9/17、11/12、12/10、2/18
選挙管理委員会	1	1月
技能検定WG（仮称）	3	4月、6月、8月

2.5 広報部会

非破壊検査の発展・普及並びに工業会会員各社の経営課題や経営基盤強化に関する施策の企画立案と推進を図ることを目的とし、「会員登録票」・「月次売上調査」・「景気動向調査」・「経営実態調査」等の調査及びアンケートを実施している。調査及びアンケートの集計結果等は、「非破壊検査業界の経営実態に関する調査集計報告書」等で会員企業にフィードバックを行い、非破壊検査業界の経営基盤の強化及びそれぞれの企業の成長力強化に貢献する普及・啓発活動を推進する。

情報提供及び普及・啓発活動の一環として、「工業会会報」・「工業会案内」・「標準積算資料」・「非破壊検査の手法」の発行と、時代のニーズに沿ったテーマを取り上げた経営交流会を実施する。

令和8年度の主な部会活動の計画を以下に示す。

- ・展示会委員会活動として、JIMA2026 第13回総合検査機器展に協賛団体として出展を計画する。
- ・標準積算資料検討委員会では、全体の構成等を見直したうえで、非破壊検査「標準積算資料（第14版）」を6月に発行する。
- ・仕事の市場WGでは、新たな情報発信ツールである「LINE 公式アカウント」を活用してタイムリーな情報発信を推進する。
- ・編集委員会では、工業会活動のタイムリーな情報発信の場として、昨年11月に工業会HPを刷新した。今年度は、工業会HPを通じて非破壊検査の普及、採用の活性化、会員数の拡大、技術者育成活動の活性化に寄与する活動を推進する。

(1) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
広報部会	3	6月、9月、1月
標準積算資料検討委員会	2	9月、2月
展示会委員会	3	5月、7月、12月
仕事の市場WG	2	5月、12月
編集委員会	6	5月、7月、9月、11月、1月、3月

(2) 展示会

展示会名称	区分	開催予定	会場
JIMA2026 第13回総合検査機器展	協賛	9月16日～18日	東京ビッグサイト

(3) 出版

出版物名称	回数	発行予定	部数
工業会会報	4	6月、9月、1月、3月	1,300
標準積算資料（第14版）	1	6月	500
工業会案内	1	10月	700
経営実態に関する調査集計報告書	1	3月	350

(4) 広告掲載

広告掲載誌等	発行元	掲載予定
溶接新報	新報	8月、1月
検査機器ニュース	産報出版	4月、7月、1月
溶接ニュース	産報出版	8月、1月
建設通信新聞	日刊建設通信新聞	4月、7月、1月
鋼構造ジャーナル	鋼構造出版	3月

2.6 技術部会

経済産業省や国土交通省など関係省庁や関連団体から依頼を頂く技術的課題に対して、会員会社の有識者や大学・研究機関のアドバイザーから協力を頂き課題の解決に向けて積極的に取り組む。また、最新の非破壊検査技術や社会のニーズに関する情報提供を発信することで新しいシーズの掘起しや技術の向上に努める。

このほか各種標準手順書を拡充するとともに既存の手順書類についても最新法規との整合を見直し検査技法の標準化を図る。さらに非破壊検査技術者として必要不可欠である資格の取得について、より精度の高い資料を提供することで会員受験者をサポートする。このほか公的機関の研修会や講習会へ指導員・講師を派遣することで非破壊検査業界の発展に係る活動を推進する。

令和8年度の技術討論会は今回初めて広島で開催する計画である。ものづくり産業の集積地として発展してきた広島は検査会社も数多く本地域での初開催は、これまで以上に多様な視点からの議論や会員相互の交流が深められることを期待する。

(1) 部会・委員会・WG

部会・委員会名	回数	実施予定
技術部会	3	4月、10月、2月
開発委員会	4	6月、9月、12月、3月
標準化委員会	3	4月、10月、2月
技術討論会実行委員会	3	5月、6月、7月
NDI 参考問題作成委員会	1	11月
労働大学校 労働行政職員の養成研修 推進 WG	2	8月、2月
危険物保安技術協会 コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会 推進 WG	1	10月

(2) 技術討論会

名称	担当	開催予定	会場
技術討論会	西日本	7/23	広島 YMCA 国際文化センター

(3) 関連団体支援

関連団体	内容	備考
日本非破壊検査協会	試験基準委員会 (JIS Z 2305)	委員派遣
日本非破壊検査協会	超音波探傷装置の特性評価と検証 (仮称) 制定 JIS 原案作成準備 WG	委員派遣
日本非破壊検査協会	JIS 「非破壊試験ーパルス渦電流試験ー」 制定原案作成委員会	委員派遣
石油学会	設備維持企画委員会 (屋外貯槽タンク)	委員派遣
石油学会	設備維持企画委員会 (配管・設備)	委員派遣
労働大学校	労働行政職員の養成研修 (検査業務専門Ⅱ研修)	講師派遣
危険物保安技術協会	コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会	講師派遣

2.7 教育部会

「配筋探査技術者」、「インフラ調査士」資格取得を目的とした教育講習および「JIS Z 2305 試験対策用 (UT2) e ラーニング講習」を継続的に開催する。

テキストおよび e ラーニングのコンテンツについては、基本構成を維持しつつ、受講者の理解がより一層深まるよう、社会動向や受講状況を踏まえながら適宜見直し・改訂を行う。

また、インフラ調査士のスタートラインに位置づけられる高校生向けの「インフラ調査士補講習 (初級・中級)」については、ジュニアマイスター顕彰制度への登録を目標とし、実施校の拡大を図りながら継続して実施する。さらに、インフラ調査士有資格者の継続教育および技術者相互の交流の場を提供するため、認証部会と連携し、第 4 回インフラ点検技術講演会を開催する。

1) コンクリート構造物の配筋探査講習

電磁波レーダ法および電磁誘導法による配筋探査講習を開催し、配筋探査技術の普及と探査技術力の向上を図る。併せて、JASS 5 T-608 に基づく構造体コンクリートの鉄筋位置およびかぶり厚さ検査に対応した講習を実施する。

2) インフラ調査士講習

国土交通省登録資格であるインフラ調査士受験に対応した講習を開催し、定期点検要領に基づく点検技術者の育成を図る。また、将来の点検技術者育成を目的として、高校生を対象としたインフラ調査士補講習を継続して実施する。

3) JIS Z 2305 技術者教育講習

JIS Z 2305 技術者教育を e ラーニング形式で開講し、受講者が各自の都合に合わせて知識・技術を習得できる環境を提供することで、企業内技術者教育を支援する。併せて、JIS Z 2305 受験対策講習会を開催し、非破壊検査技術者の育成に資する。

4) 各支部主催講習等

各支部の教育委員会主催による講習、セミナー等を開催する。

(1) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
教育部会	3	6月、11月、2月
配筋探査講習会委員会	2	5月、11月
インフラ調査士講習会委員会	2	5月、11月
2305委員会	2	5月、11月

(2) 講習会

講習会名称（略称）	種別	地区	実施予定
配筋探査	eラーニング	—	4月、10月
配筋探査実技	実技	東京・大阪	7月、1月～2月
建築	eラーニング	—	5月、10月
建築実技	実技	東京	6月、11月
インフラ調査士	オンライン	—	4月、10月
インフラ調査士更新	eラーニング	—	4月～5月 10月～11月
インフラ調査士補(中級、初級)	動画視聴	—	通年
2305(UT2)試験対策	eラーニング	—	通年

2.8 認証部会

コンクリート構造物の配筋探査及び測定を行う配筋探査技術者（土木・電磁波レーダ法）、配筋探査技術者（土木・電磁誘導法）及び配筋探査技術者（建築）の資格試験の実施並びに技術者資格認証を継続するとともに、国家資格への登録を目指した取組を推進する。併せて、再認証試験を通じて資格者の技量の維持・向上を図る。

また、国土交通省の登録資格であるインフラ調査士について、資格認証試験〔対象施設：橋梁（鋼橋）、橋梁（コンクリート橋）、道路トンネル、舗装、道路附属物（標識、照明施設等）、横断歩道橋〕を年2回実施する。更新にあたっては、eラーニングを活用した再教育及び試験を継続して実施する。さらに、資格者の活用促進を目的として、資格制度や活用事例、新技術動向等に関する情報をメール配信等により発信し、資格の社会的価値向上と実務への活用につなげる普及活動を推進する。加えて、資格者の継続教育の一環として、「AIとともに歩むインフラ点検～三巡目の点検の教訓と次の一手」をテーマとした第4回インフラ点検技術講演会を開催する。また、学生や実務経験の少ない若年層及び自治体職員を対象として2024年度に創設した、インフラ調査士へのステップアップ資格であるインフラ調査士補について、資格認証及び普及活動を引き続き推進する。

(1) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
資格認証部会	2	9月、3月
認証運営委員会	2	9月、3月
諮問委員会	1	7月
内部監査委員会	1	3月
査定委員会	4	6月、9月、12月、3月
配筋探査試験委員会	2	9月、3月
配筋探査問題管理委員会	2	9月、3月
インフラ調査士試験委員会	2	5月、12月
インフラ調査士問題管理委員会	2	9月、3月
共通問題管理小委員会	1	9月
鋼橋問題管理小委員会	2	7月、1月
コンクリート橋問題管理小委員会	2	7月、1月
トンネル問題管理小委員会	2	7月、1月
付帯施設問題管理小委員会	2	7月、1月
インフラ調査士補試験委員会	2	6月、12月
インフラ点検技術講演会実行委員会	4	5月、10月、1月、3月

(2) 認証試験

資格試験名称（略称）	種別	区分	回数	実施予定
配筋探査（土木・電磁波レーダ法） （土木・電磁誘導法）	学科	新規	2回	5月、11月
配筋探査（建築）	学科	経過処置	2回	5月、11月
配筋探査（土木・電磁波レーダ法） （土木・電磁誘導法）	実技	新規	2回	8月、2月
配筋探査（土木・電磁波レーダ法） （土木・電磁誘導法）	実技	再認証	2回	8月、2月
配筋探査（建築）	実技	新規	2回	6月、11月
配筋探査（建築）	実技	再認証	2回	6月、11月
インフラ調査士	学科	新規	2回	5月、11月
インフラ調査士	実務	新規	2回	8月、1月
インフラ調査士 更新試験	eラーニング	更新	2回	5月、11月
インフラ調査士補	eラーニング	新規	1回	10月～11月

配筋探査：検規 6501「コンクリート構造物の配筋探査技術者認証基準」による認証試験

インフラ調査士：検規 6001「インフラ調査士技術者認証基準」による認証試験

(3) 講演会

名称	開催予定	会場
インフラ点検技術講演会	4/24	きゅりあん（品川区立総合区民会館）

2.9 安全部会

労働安全衛生管理と職場環境の改善に関する施策の立案とその推進を図ることを目的とする。本部は、無災害労働時間の調査と表彰、安全衛生標語募集とポスターの発行し、会員の安全意識向上を支援する。

放射性同位元素等安全管理委員会は、放射線障害防止法に係る非破壊検査の安全管理の施策の企画立案と啓発・普及活動を推進する。

放射線管理手帳発効機関は、放射線従事者中央登録センターと連携をとり、会員会社を主とした放射線管理手帳の発行と登録業務を円滑に進める。

エックス線安全取扱教育ワーキンググループは、今年度もエックス線装置を使用する者を対象として、厚生労働省告示第50号の「特別教育規定」に準拠したエックス線安全取扱教育講習を継続して開講する。

令和8年度の主な活動計画を以下に示す。

- 1) 本年4月1日に一部施行される厚生労働省「労働安全衛生規則」改正に伴い透過写真撮影業務以外の特定エックス線装置も「特別教育」の対象となることから蛍光エックス線分析装置等の他の装置の使用も対象とした講習を検討する。
- 2) 労働安全衛生規則等の一部を改正する省令に基づく『化学物質のリスクアセスメント』に関連し、浸透探傷試験用に使用される有機溶剤の暴露防止に関する取扱マニュアル(ポスター)を作成する。
- 3) 原子力規制庁等監督官庁の業界窓口として、適切に意見・要請を行うとともに法改正に関して原子力規制庁等監督官庁から意見聴取の要請に対応する。
- 4) 関係省庁や学会から参加要請があった場合には、当工業会を代表して参加し、業界の地位と認知度の向上に努める。

(1) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
安全部会	2	7月、11月
「エックス線安全取扱教育」WG	3	5月、9月、1月
放射性同位元素等安全管理委員会 委員会	1	11月
同上 大会	1	11月
関係省庁や学会からの要請の委員会	随意	未定

(2) 講習会

名称	担当	実施予定
エックス線安全取扱教育講習	エックス線安全取扱教育 WG	4月、11月(eラーニング)

3. 支部活動

支部は「非破壊検査の普及・啓発、非破壊検査の新たな市場創出に向けた活動の推進、並びに地位の向上」を目指し事業に取り組む。本部の部会で計画・立案された事業計画に基づく活動計画並びに支部独自の事業計画を策定し、本部と支部の連携のもとに活動を展開する。また、支部大会、秋季例会を開催し、講演会、経営交流会など趣向を凝らした活動を行う。

3.1 東日本支部

(1) 支部事業

名 称	回数	実施予定
支部大会	1	7月
年末例会	1	12月
NDI 資格取得のための教育訓練講座	2	9月、3月
事業所見学会	1	11月

(2) 幹事会

名 称	回数	実施予定
幹事会	5	5月、7月、10月、12月、2月

(3) 認証事業・教育事業

名 称	回数	実施予定
配筋探査認証事業 学科試験	2	5月、11月
配筋探査認証事業 実技試験	2	8月、2月
インフラ調査士学科試験	2	5月、11月
配筋探査実技講習会	2	7月、1月

3.2 関西支部

(1) 支部事業・講習会・合同例会

名 称	回数	実施予定
支部大会	1	6/11
9月例会兼経営交流会	1	9/4
NDI 資格取得のための一次試験対策セミナー	2	9月、3月
賀詞交歓会	1	1/14

(2) 幹事会

名 称	回数	実施予定
幹事会	6	4/9、7/8、10/23、11/19、2/4、3/18

(3) 認証事業・教育事業

名 称	回数	実施予定
配筋探査認証事業 学科試験	2	5月、11月
配筋探査認証事業 実技試験	2	8月、2月
インフラ調査士学科試験	2	5月、11月
配筋探査実技講習会	2	7月、2月

3.3 西日本支部

(1) 支部事業

名 称	回数	実施予定
支部大会	1	6/25
第22回 技術討論会(広島 YMCA 国際文化センター)	1	7/23
秋期例会・経営交流会	1	9/24
技術交流会 (JSNDI 共催)	1	11/20
特別講演・賀詞交歓会	1	1/22
アンケート要請による講座	1	2/5

(2) 幹事会

名 称	回数	実施予定
幹事会	6	4/10、6/25、9/24、11/5、1/22、3/4

3.4 機材支部

(1) 支部事業

行 事 名	回数	実施予定
支部大会	1	6月19日 (川崎市商工会議所)

(2) 幹事会

行 事 名	回数	実施予定
幹事会	4	5月、9月、12月、3月

(3) 合同例会

行 事 名	回数	実施予定
合同例会と懇親行事	1	10月8日 (新横浜グレイスホテル)および9日

(4) 委員会

委員会	回数	実施予定
広報委員会	—	本部部会へ参加。委員会は、開催せず。
技術委員会	4	5月、7月、10月、令和9年1月 (Web、Web・対面併用)

委員会	回数	実施予定
教育委員会	－	本部部会へ参加。委員会は、開催せず。
安全委員会	－	本部部会へ参加。委員会は、開催せず。 安全衛生標語の推薦はメール審査で行う。
専門分科会	回数	実施予定
UT 分科会	7	4月、6月、7月、9月、11月、12月、2月(JIMA 殿との機器市場統計調査会) (Web、Web・対面併用)
RT 分科会	4	6月、9月、12月、3月 (Web、対面)
計測分科会	4	5月、7月、10月、1月 (Web、Web・対面併用)

(5) 講演会、展示会、セミナー及び見学会

名 称	担当	実施予定
NDT 塾	技術委員会	令和9年2月 (Web 開催)
フェーズドアレイ超音波探傷器講習会	UT 分科会	令和9年1月 (対面開催)
超音波試験による検査適用事例講習会 (日本工業出版主催)の支援 ※JANDT 後援	UT 分科会	11月 (WEB 開催)
DRT セミナー(日本工業出版主催)の支援 ※JANDT 後援	RT 分科会	令和9年2月又は3月
見学会	RT 分科会	未定
新入社員の為の非破壊検査基礎講習会	計測分科会	4月 (対面開催)
見学会	計測分科会	10月

4. 対外活動

日本経済再生に向けた国の経済対策に対応して、高齢化・老朽化した社会インフラの安全性の確保と長寿命化のための検査診断技術や、検査手法の開発・実用化並びにその活用と普及に関し、経済産業省や国土交通省並びに地方自治体等との連携協力を促進するとともに、非破壊検査業界の関連団体との緊密な連携を図り、非破壊検査の発展と普及に向けた活動を強化推進する。また、下記に示す外部委員会等へ積極的に参加し、相互理解と連携協力の促進に努める。

- (1) 日本非破壊検査協会 諮問委員会 外6委員会
- (2) 日本溶接協会 溶接検査認定委員会
- (3) 労働大学校 労働行政職員の養成研修 (検査業務専門Ⅱ研修)
- (4) 危険物保安技術協会 コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会
- (5) 危険物保安技術協会 新たな検査手法の検証に関する業務に関する一部業務再委託
- (6) 危険物保安技術協会 渦電流探傷試験の内部研修 (KHK 職員) に係る講師派遣
- (7) 全国危険物安全協会 地下タンク等定期点検実施制度運営委員会
- (8) 石油化学工業協会 定修会議
- (9) 放射線障害防止中央協議会